

平和維持貢献が政府の役割

日本記者クラブ デニー知事会見

コサ騒動の翌朝に見た風景と二重身になるぐら
い悲惨だった。豊かな戦
争は絶対やつてはいけな
い」と沖縄から発信する責
任を痛感した」と語りま
した。

悲惨な地上戦が行われ
た沖縄戦に触れ「戦争は
千書あって一利なしだ」
と強調。抑止力強化を名
目にした軍事費倍増や改
憲について「ウクライナ
危機に乗じて十分に議論
もせず、国民に誤った選
択を示すこととなる」と
の危惧を表明し、政府に
平和外交に徹する考え方
を發信するよう求めまし
た。

沖縄県の本土復帰50年
(15日) を控え、同県の
玉城デニー知事は13日、
日本記者クラブ主催のオ
ンライン会見に出席し、
「台湾有事」で沖縄が紛
争に巻き込まれるとの懸
念の声が高まってくるこ
とにから、「日本政府
こそ平和維持に貢献する
役割を担うべきだ」と主
張しました。

デニー知事は、ロシア
のウクライナ侵略で破壊
された街の映像を見て、
「1970年12月に私が

りなどを盛り込んだとし
て、沖縄の自立経済の構
築を目指す考えを示しま
した。